

第2回松永駅周辺活性化協議会(概要)

日 時	2024年(令和6年)11月1日(金) 15:00~16:30
場 所	ニチエー会館
出席者	(座 長) 玉井由樹 ※敬称略 (委 員) 松本陵磨(オンライン)、横山典好、岡田典子、島田清豪、小川一佳、 沖裕人、友田聡、遠部康人、坂田英幸 (オブザーバー) 福山西警察署、J R西日本(尾道駅)、松永高校、 福山大学建築学科 (事務局) 福山商工会議所松永支所長、福山市松永支所長、松永地域振興課長、 松永建設産業課長、松永地域振興課地域づくり担当次長

1 開会

2 挨拶(松永支所長)

3 事務局説明

松永未来会議での取組、実証実験について

【質疑・応答】○委員、■事務局

○市としては、にぎわいを一か所に集中させようとしているように感じる。

■市としては、まちづくりの軸足を地域へ向けようとしているところ。

松永地域についても、まずは駅周辺、それから地域へ、持続可能なまちづくりをしていくための拠点となる取組を進めていこうとしている。中心部へのにぎわいの一点集中ということは考えていない。

○未来会議での議論は中心部に話が集中しており、地域全体の活性化につながるのか？

■地域の人と話をしながら進めていきたい。

○未来会議であがった具体例を、実現しようというプレイヤーはいるか？

■具体例を実現できるようなメンバーはいる。ただ、現段階で業としてやろう、という声は未来会議内ではあがっていない。協議会委員とも相談しながら、考えていきたい。学生のチャレンジショップ等を実現する際には福山大学と連携しながら進める等、松永ならではの案を聞きながら進めていきたい。

○北口のアーケードについて、地域の人が撤去したと聞いたが、その進捗は？

■商店街組合が解散して約11年が経過し、現在商店街有志の方々が危険な箇所については撤去をしなければ、と動いている。アーケードの所有権がはっきりしていない中で、関係者に同意を得て、まちづくりを推進していくうえで古いものは撤去して、道としての空間整備を市としても一緒に考えていきたい。

○駅北口から始まり、福山大学の方までにぎわいが伸びてきてほしい。福山大学の周辺が市街化調整区域となっているが、取払うことはできないか。

■にぎわいを考える中で、担当課と話しながら、変更していくことは可能。

○空き店舗等を活性化しようというときに、企業等松永エリア全体とどうやってつなげていくのか、ということをしっかり考える必要がある。松永エリア外から来た「よそ者」をどうやって引き入れていくのか。

■松永エリア全体で、業を担う人たちを発掘していく必要がある。福山駅周辺のシンポジウム等で連携しながら松永エリアに興味を持っている人を見つけ、繋げていく取組を進めていく。

○めざす方向性をはっきりしていないと、継続性がない。ターゲットの明確化等をするために、データ収集しながら進めてほしい。

■めざす方向性、というものが今後ビジョンという形になろうかと思う。具体的な取組に移す際の方向性を決めていこうというのが、これからの取組になろうかと思う。これまでに挙げた意見や取組案をもとに、未来会議では方向性の言語化や、めざす姿を皆が共有しやすい形にしていきたい。

4 意見交換

～未来会議に期待すること～

○人が集まるところになってほしい。

○日々の生活が、明るく、笑顔に、交流できる、住みたくなるような街を描いてほしい。

○インフルエンサーを呼んで、若者が必要としているものを聞く場を用意する。

○何年か、少しずつでも継続して、参加する人を増やしていくことが大事。

○取組みたいテーマに沿って未来会議のメンバーを絞った方が良いのでは。

○若者はないものねだりもするが、自分たちでは考えつかない発想もあるため大事に。

○未来会議で出た意見をもっと増やして行ってほしい。絞るのは早いのではないか。

○挙げた意見を絞りすぎているような気もする。具体策として絞ったのであれば、より実現可能な、生産性のある会議にしてほしい。

○松永エリア全体の視点をもった議論を進めてほしい。

○ゲタリンピックの復活についても議論してほしい。

○現在、松永の魅力、課題が挙がってきている状態。未来会議参加者だけでまとめられる量ではない。未来会議を開催する前に、専門家の知見を取り入れたうえで会議を開催するのが良いと思う。

○高校生は達成感を味わっていた。引き続き未来会議に参加してもらいたい。

○住民の安全と安心も併せて考えながら進めてもらいたい。

○松永エリアの「こうあってほしい姿」を先に考え、次に現状を考えてほしい。

5 今後の取組

■委員の皆様から様々なご意見をいただき、未来会議については、まずは未来の姿の方向性

のイメージのすり合わせを行いながら進める。その未来の姿のために、戦略をいくつか練り上げ、その下に具体的な取組がつながっていくように。メンバーそれぞれをグルーピングし、それぞれでワークショップを実施していこうかと考える。

12月16日(月)にシンポジウムを計画している。福山駅周辺活性化協議会座長の清水義次先生をお迎えする。リノベーションによるまちづくりの専門家である。そういった取組がなぜ必要なのかといった内容の講演とパネルディスカッションを考えている。

6 閉会